



1月11日 消防出初式 盛大に挙行されました



須坂市消防団広報紙

さくら…消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2026 4
(令和8年)

春になり暖か過ぎて過ごしや
い日々となりました。その一
方で、一昨年より全国的に少
雨と乾燥が続き、山林火災や
建物火災が大変多く発生して
おります。

須坂市においても火災の多
い一年となり、本年一月から
林野火災注意報と林野火災警
報の運用が開始されました。
どちら様も火の取り扱いには
充分注意していただきます様
お願い申し上げます。

昨年十一月に発生した大分
市佐賀関の大規模火災では、
地元地理に詳しい消防団員が
住民の避難に大きく貢献した
と伝え聞いております。消防
団が地域をよく知り見守るこ
とが地域防災に繋がると考え
ております。

末筆ではありませんが、日頃
の皆様のご理解ご協力を感謝
申し上げます。また、本年が災害
のない一年となります様切に
願ひ、挨拶とさせていただきます。



須坂市消防団長
関 延之



須坂市消防長
山岸 良浩

地域・事業所の皆様、消防団
への応援をお願いします。

須坂市消防団
協力事業所

サポート事業所
登録店

- ◆林野火災注意報を発令する際の主な基準
発令日前3日間の合計降水量1mm以下
発令日前30日間の合計降水量30mm以下
乾燥注意報 など
- ◆たき火を行うときは気をつけましょう
①その場を離れない ②消火用水の準備
③最後に完全消火 ④強風時は行わない

地域の皆様におかれまして
は、日頃から、消防団をはじ
め消防業務に對しまして格別
のご理解とご協力を賜り深く
感謝申し上げます。

須坂市消防団は、台風や豪雨
などで困っているときに、真っ
先に駆けつけ活動いただいで
いる非常に大切な組織です。
消防団の魅力は、年齢構成
・職業など様々で、幅広い
ネットワークでお付き合いが
広がります。

消防団とは
消防団は、本業を持ち
ながら『自分たちのま
ちは自分たちで守る』とい
う郷土愛護とボランティア
精神に基づき組織され
た市町村の消防機関の一
つです。

消防団員は、消防・防
災に関する知識や技術を
習得し、火災発生時にお
ける消火活動、地震や風
水害などの大規模災害発
生時における救助・救出
活動、警戒巡視、避難誘
導、災害防ぎょ活動など
に従事し、昼夜を問わず
地域住民の生命や財産を
守るために活動していま
す。災害時以外には、訓
練や災害を未然に防止す
るため火災予防、防火指
導、特別警戒などを行っ
ています。

須坂市消防団長
関 延之

活動報告

4月19日、春の特別火災予防運動に伴う消防訓練を実施しました。

訓練内容は「現場指揮本部設置訓練」「消防署及び消防団の部隊訓練」「山林火災防ぎよ訓練」「ドローンを活用した情報収集訓練」「応急手当、救急搬送訓練」です。

須坂市消防団では署と連携をして、定期的に技術向上に努めています。



▶山林火災防ぎよ訓練

(4月19日)

実践に近い訓練を署と合同で行いました 担当第4分団



須坂市消防団音楽隊長 山岸 雅哉

定期演奏会のお礼

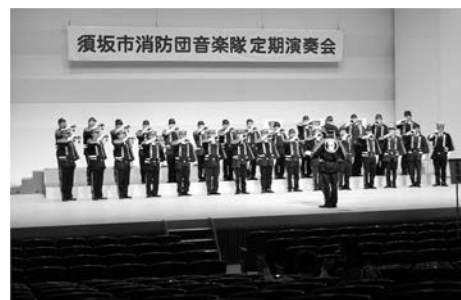
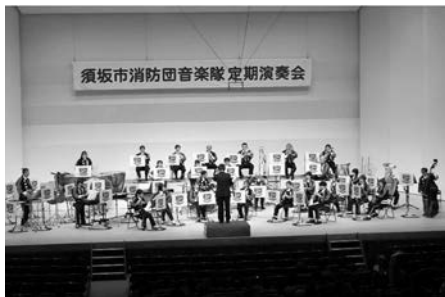
第41回須坂市消防団音楽隊定期演奏会には、多くの市民の皆さまをはじめ、関係団体の皆さまにご来場賜り、また株式会社G o l i g h t様のご協力による生中継およびインターネット配信をご視聴いただき、誠にありがとうございました。

当音楽隊の定期演奏会は、例年チャリティーとして開催しており、皆さまよりお寄せいただきました温かいご厚志は、須坂市社会福祉協議会へ寄付いたしました。ここに改めて深く感謝申し上げます。

本年も皆さまにご満足いただける演奏をお届けできるよう、ポピュラーソングに加え、吹奏楽の魅力を存分に感じていただける曲目をそろえ、隊員一同、日々訓練に励んでおります。

第42回定期演奏会は、11月8日の開催を予定しております。皆さまのご来場ならびにご視聴を心よりお待ちしております。

第41回 消防団音楽隊定期演奏会



須坂市消防団管轄区域 第5分団 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 第6分団 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 第7分団 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反田町 5部 幸高町 6部 米持町

消防団員の声



第11分団 2部副部長
小林 聖

消防団に入団して十数年になります。地域の皆さんの安心・安全を守るため、仲間とともに日々訓練に励んでいます。
本業との両立は簡単ではありませんが、地域に貢献できるやりがいは大きく、活動を通して得られる経験や仲間との絆は何ものにも代えがたいものです。
これからも「自分たちの町は自分たちで守る」という思いを胸に、活動を続けていきたいと思えます。



第10分団 3部団員
坂田 純也

私は消防団に入ってから四年がたちました。最初の年は私に消防団の活動が勤まるのかと不安でいっぱいでした。ですが、頼りになる先輩方に丁寧な指導で、何回も根気強く教えていただきました。そのおかげで月々の放水訓練でポンプの使い方や筒先の操作の仕方など多くの事を学ぶことができました。まだまだ不慣れな分列行進や規律訓練がありますが、部や部団さらには他部団のみなさまと切磋琢磨して成長していきたいと思っています。
令和七年の五月頃からオクレンジャーというアプリで須坂の火災を消防団全員により速く伝達できる仕組みになりました。そこで須坂市だけでもこんなにも多くの火災が起っていると驚くと同時に地域への防災の呼びかけと有事の際はしっかり活動できるように訓練への心持ちが一層強くなりました。



▲須坂市消防出初式（1月11日）

写真で見る消防団活動 1月～3月



▲火災防ぎょ訓練（3月1日）
実践に近い訓練を署と合同で行いました
担当 第6分団



▲通常点検（3月1日） 第3分団・第4分団

